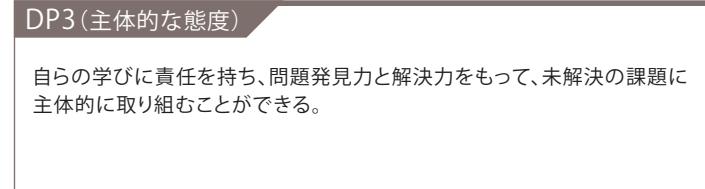
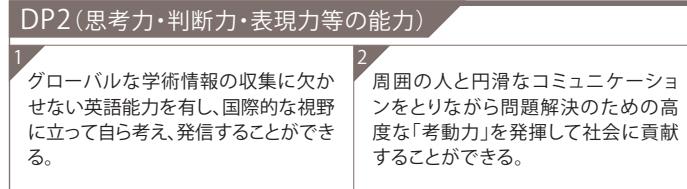
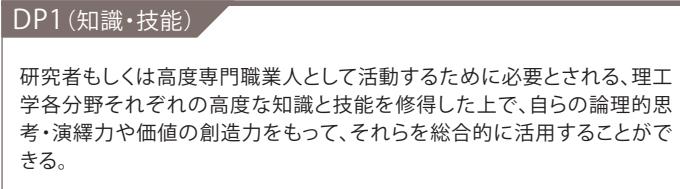


理工学研究科【博士課程前期課程 システム理工学専攻】カリキュラムツリー

● 講義科目 ● 実習科目 ● ゼミナール ● 修士論文



理工学研究科【博士課程前期課程 環境都市工学専攻】カリキュラムツリー

● 講義科目

● 実習科目

● ゼミナール

● 修士論文

DP1(知識・技能)

研究者もしくは高度専門職業人として活動するために必要とされる、理工学各分野それぞれの高度な知識と技能を修得した上で、自らの論理的思考・演繹力や価値の創造力をもって、それらを総合的に活用することができる。

DP2(思考力・判断力・表現力等の能力)

1 グローバルな学術情報の収集に欠かせない英語能力を有し、国際的な視野に立って自ら考え、発信することができる。

2 周囲の人と円滑なコミュニケーションを取りながら問題解決のための高度な「考動力」を發揮して社会に貢献することができる。

DP3(主体的な態度)

自らの学びに責任を持ち、問題発見力と解決力をもって、未解決の課題に主体的に取り組むことができる。

【講義科目】

研究科内共通科目(A群)

- 工学倫理特論
- 技術経営論
- 知的財産論
- 科学技術論
- マーケティング論
- エネルギー・環境論
- 経済産業論
- ベンチャー論
- 安全学総論
- 技術者のための文系基礎知識
- 特殊講義(各テーマ)
- 寄附講座(各テーマ)

建築学分野(C群)

- 都市設計学特論
- 都市住環境学特論
- 建築視環境特論
- 建築音環境特論
- 建築熱環境特論
- 建築空気環境特論
- 建築建築学特論
- 設計製図
- 建築基礎工学特論
- 建築材料力学特論
- 耐震工学特論
- 建築構造解析学特論
- 建築構造力学特論
- 建築文化財特論
- 建築保存工学特論
- 建築構造設計特論
- 建築史学特論
- 建築意匠特論
- 地震防災工学特論
- 地震災害工学特論
- 建築設計特論
- 建築計画学特論
- 英語基準コース専門科目
- 英語基準コース(各テーマ)

英語基準コース基本科目(K群)

- Japanology
- 日本語ライティング
- 英語基準コース(各テーマ)

専攻内共通科目(B群)

- 安全工学特論
- 環境分析特論
- 都市環境学特論
- 建築環境物理学特論
- 建築環境心理学特論
- 都市情報システム特論
- 都市及び地域再生特論
- 公共政策学特論
- 地下空間工学特論
- 信頼性設計学特論
- 計画マネジメント特論
- X線回折法
- 有機資源転換工学特論
- 微粒子分散工学特論
- 相平衡の科学
- 資源循環工学特論
- 弹塑性学特論
- 地球環境再生生産プロセス
- 地域再生学特論

2年次

博士課程前期課程

1年次

都市システム工学分野(C群)

- 科学技術英語
- 地盤環境工学特論
- 地盤地震工学特論
- 河川工学特論
- 海岸工学特論
- 環境工学特論
- 廃棄物リサイクル工学特論
- 景観学特論
- 構造工学特論
- 鋼構造工学特論
- RC構造工学特論
- コンクリート工学特論
- 建設マネジメント特論
- ストックマネジメント特論
- 地域・都市計画学特論
- 交通システム学特論(PBL)
- 社会資本計画学特論
- 社会資本事業マネジメント特論
- 数理計画工学特論
- 意思決定工学特論
- 最適化数理特論
- 計画数学特論
- シミュレーション技術特論
- シミュレーションモデリング特論
- オブジェクト指向開発特論
- ソフトウェア工学特論
- 分散情報処理特論
- 最適設計工学特論
- 情報ネットワーク特論
- 情報メディア工学特論
- 英語基準コース専門科目
- 英語基準コース(各テーマ)

エネルギー環境・化学工学分野(C群)

- エネルギー環境・化学工学PBL I (計画編)
- エネルギー環境・化学工学PBL II (実施、検討編)
- 分析・構造解析の理論と実践I
- 分析・構造解析の理論と実践II
- 光機能性材料特論
- プロセス解析工学特論
- 分離工学特論
- 無機材料化学特論
- 輸送現象論特論
- グリーンプロセス工学特論
- 化学環境学特論
- 触媒工学特論
- 機能物質工学特論
- ナノ粒子工学特論I
- ナノ粒子工学特論II
- 反応システム工学特論
- 応用鉱物工学特論
- 英語基準コース専門科目
- 英語基準コース(各テーマ)

修士論文

【実習科目】

- アドバンストインターンシップI
- アドバンストインターンシップII
- アドバンストインターンシップIII
- 海外実習I
- 海外実習II
- 海外実習III
- 建築環境シミュレーション実習
- 建築設計インターンシップI
- 建築設計インターンシップII
- 建築設計インターンシップIII

早期修了制度
(都市システム工学分野)

修士論文

【ゼミナール】

- 建築学ゼミナール III・IV
- 都市システム工学ゼミナール III・IV
- エネルギー環境・化学工学ゼミナール III・IV
- 地域再生学ゼミナール III・IV
- 修士論文研究

【ゼミナール】

早期修了制度(都市システム工学分野)

- 建築学ゼミナール I・II
- 都市システム工学ゼミナール I・II
- エネルギー環境・化学工学ゼミナール I・II
- 地域再生学ゼミナール I・II
- 修士論文研究

理工学研究科【博士課程前期課程 化学生命工学専攻】カリキュラムツリー

● 講義科目 ● 実習科目 ● ゼミナール ● 修士論文

DP1(知識・技能)

研究者もしくは高度専門職業人として活動するために必要とされる、理工学各分野それぞれの高度な知識と技能を修得した上で、自らの論理的思考・演繹力や価値の創造力をもって、それらを総合的に活用することができる。

DP2(思考力・判断力・表現力等の能力)

1 グローバルな学術情報の収集に欠かせない英語能力を有し、国際的な視野に立って自ら考え、発信することができる。

2 周囲の人と円滑なコミュニケーションを取りながら問題解決のための高度な「考動力」を發揮して社会に貢献することができる。

DP3(主体的な態度)

自らの学びに責任を持ち、問題発見力と解決力をもって、未解決の課題に主体的に取り組むことができる。



【講義科目】

研究科内共通科目(A群)

- 工学倫理特論
- 技術経営論
- 知的財産論
- 科学技術論
- マーケティング論
- エネルギー・環境論
- 経済産業論
- ベンチャー論
- 安全学総論
- 技術者のための文系基礎知識
- 特殊講義(各テーマ)
- 寄附講座(各テーマ)

化学・物質工学分野(C群)

- 鉄鋼材料学特論
- 統計力学特論
- 金属系生体・福祉材料特論
- 金属生産工学特論
- 金属液体構造特論
- 材料機能学特論
- 凝固プロセス工学特論
- 融体加工学特論
- 複合化プロセス工学特論
- 材料界面工学特論
- 結晶・電子構造特論
- セラミック材料学特論
- 無機固体化学特論
- 電気エネルギー化学特論
- 光化学特論
- 応用コロイド化学特論
- 質量分析化学特論
- 有機合成化学特論
- 有機触媒化学特論
- 有機構造化学特論
- 有機反応化学特論
- 有機半導体化学特論
- 高分子材料化学特論
- 高分子合成化学特論
- 高分子設計創生学特論
- 生体材料化学特論
- バイオナノテクノロジー特論
- バイオインスパイアード化学特論
- 生体組織工学特論
- 複合糖質化学特論
- 分子認識化学特論
- 生体錯体化学特論
- 科学技術英語
- 特別講義(各テーマ)

生命・生物工学分野(C群)

- 分子細胞生物学特論
- 創薬化学特論
- 医薬品生体作用学特論
- 分子微生物学特論
- 微生物制御学特論
- 微生物資源学特論
- 発生工学特論
- 食品化学特論
- 食品保藏学特論
- 酵素化学特論
- 生物プロセスシステム工学特論
- 環境微生物学特論
- 食品微生物学特論
- 植物細胞生物学特論
- 微生物免疫学特論
- 生物環境工学特論
- バイオインフォマティクス特論
- 生命・生物工学英語特論
- (英語基準コース専門科目)
- 英語基準コース(各テーマ)

2年次

博士課程前期課程

1年次

英語基準コース基本科目(K群)

- Japanology
- 日本語ライティング
- 英語基準コース(各テーマ)

専攻内共通科目(B群)

- 安全工学特論
- X線回折法
- 材料プロセス工学
- 物質エネルギー工学
- 有機工業化学特論
- 高分子科学特論
- 界面科学特論
- 生体関連化学
- バイオマテリアル科学
- 生命科学特論
- 生物工学特論
- (英語基準コース専門科目)
- 英語基準コース(各テーマ)

修士論文

【実習科目】

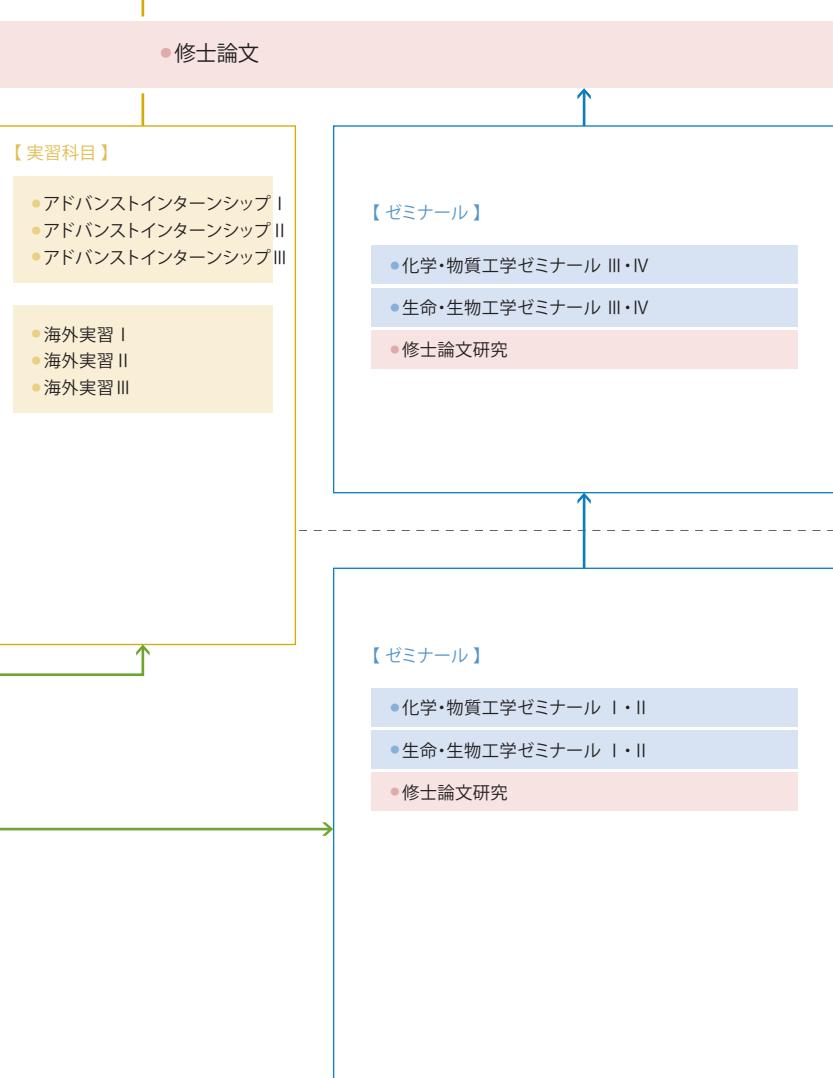
- アドバンストインターンシップⅠ
- アドバンストインターンシップⅡ
- アドバンストインターンシップⅢ
- 海外実習Ⅰ
- 海外実習Ⅱ
- 海外実習Ⅲ

【ゼミナール】

- 化学・物質工学ゼミナールⅢ・Ⅳ
- 生命・生物工学ゼミナールⅢ・Ⅳ
- 修士論文研究

【ゼミナール】

- 化学・物質工学ゼミナールⅠ・Ⅱ
- 生命・生物工学ゼミナールⅠ・Ⅱ
- 修士論文研究



理工学研究科【博士課程後期課程 総合理工学専攻】カリキュラムツリー

●実習科目 ●ゼミナール ●博士論文

DP1(知識・技能)

研究者もしくは高度専門職業人として自立して活動するために必要とされる、理工学各分野の卓越した知識と技能を修得した上で、自らの論理的思考・演繹力や価値の創造力をもって、それらを総合的に活用することができる。

DP2(思考力・判断力・表現力等の能力)

グローバルな情報収集と発信能力に欠かせない十分な英語向上能力と活用能力を有し、国際的な視野に立って思考し、研究した成果を国内外に発信することができる。

DP3(考動力と指導力)

周囲の人と円滑なコミュニケーションをとりつつ、卓越した「考動力」と「指導力」を發揮して社会に貢献することができる。

DP4(主体的な態度)

自らの学びに責任を持ち、高い職業的倫理観のもと、優れた問題発見力と解決力をもって、未解決の課題を自ら提起し、その解決に向けて取り組むことができる。

